

会議の名称	平成 30 年度第 3 回福津市郷づくり推進協議会代表者会議	
開催日時	平成 30 年 11 月 28 日 (水) 15:00～17:10	
開催場所	市庁舎本館 2 階 大会議室	
委員	<p>【出席者】※ () は欠席</p> <p>勝浦：新海 悦生、(伊熊 泉)</p> <p>津屋崎：山脇 清、御厨 忠男</p> <p>宮 司：坂根 康廣、藤山 昇</p> <p>福 間：小山 勝昭、中村 勝利</p> <p>神 興：富松 享一、山西 祐司</p> <p>上西郷：今里 幸和、檜原 純江</p> <p>神興東：奥 弘子、上村 武男</p> <p>福間南：原 秀俊、石橋 和義</p>	
専任事務局員	<p>【出席者】※ () は欠席</p> <p>御厨 浩、大神 常男、三原 道雄、廣渡 策生、鶴田 隆子、原 俊久 (緒方 泰世)、池田 典彦</p>	
職員	原崎市長、松田副市長、永島地域振興部長、堀田広報秘書課長、藤井広報秘書課広報広聴係長、松崎うみがめ課長、寺島うみがめ課資源リサイクル係長、川崎福祉課長、羽田野福祉課福祉総務係長、香田総務課文書法制係長、永島総務課文書法制係員、青谷人権政策課長	
その他出席者	ふくつ姉妹。(メンバー 2 名)	
事務局	花田郷づくり支援課長、徳永郷づくり支援課郷づくり支援係長、新海郷づくり支援課郷づくり支援係員	
会 議	内容	<p>1. あいさつ</p> <p>2. 依頼・説明事項</p> <p>(1) 広報紙配布方法及び郷づくり推進事業交付金の見直しについて (広報秘書課、郷づくり支援課)</p> <p>(2) 地域分別収集事業について (うみがめ課)</p> <p>(3) 民生委員・児童委員の一斉改選について (福祉課)</p> <p>(4) 平成 31 年福津市議会議員選挙及び福岡県知事・県議会議員選挙における投票管理者及び投票立会人のお願い (総務課)</p> <p>(5) 平成 30 年度福岡県「女性による元気な地域づくり応援講座事業」女性げんき塾 ふくつ姉妹。活動報告及び公開講座出席の依頼について (男女共同参画推進室)</p> <p>3. その他</p>
	配付資料	<p><input type="checkbox"/>平成 30 年度 第 3 回福津市郷づくり推進協議会代表者会議次第</p> <p><input type="checkbox"/>平成 31 年度 広報紙配布方法及び郷づくり推進事業交付金の見直しについて</p> <p><input type="checkbox"/>平成 31 年度 各郷づくり地域の交付金交付予定額資料一覧</p> <p><input type="checkbox"/>地域分別収集に関する意向調査について (お願い)</p> <p><input type="checkbox"/>民生委員・児童委員の一斉改選について (通知)</p> <p><input type="checkbox"/>投票管理者等の選任について (依頼)</p> <p><input type="checkbox"/>平成 30 年度 福岡県「女性による元気な地域づくり応援講座事業」女性げんき塾、ふくつ姉妹。公開講座の参加について (お願い)</p>

会議内容（要点）

1. あいさつ

（1）市長あいさつ

市長があいさつを述べた。

2. 依頼・説明事項

坂根会長：各郷づくりへの依頼・説明事項について、事務局に進行を委ねる。

（1）広報紙配布方法及び郷づくり推進事業交付金の見直しについて（広報秘書課、郷づくり支援課）

郷づくり支援課が上記について説明した。

（郷づくり支援課）

広報紙は、市民に市政の情報を伝えるものであり、その配布は市の責務であるが、近年、自治会未加入者の増加等により、一部の世帯に届いていない現状がある。このことは、議会の一般質問等でも指摘があり、市で検討を進めてきた。また、昨今の運転手不足の影響により、自治会に広報紙を配送することを業者に依頼することが困難になってきている。また、自治会においても、自治会での作業、仕分けスペース、組長への運搬等の負担軽減を求める声があり、これを総合的に勘案し、大幅に見直すこととした。

見直し内容は、広報紙の配布は平成 31 年度から市がポスティングすることとし、回覧文書は、現在の月 2 回から月 1 回の配送とする。これに伴い、郷づくり推進事業交付金の算定基準を見直し、基礎事業分の広報配布等事業という名称を自治活動推進事業とする。これらのことについては、郷づくり地域単位で自治会説明会を予定しており、日程等の調整をお願いしたい。

来年度の郷づくり推進事業交付金の交付額について各地域の算定を行なったので、確認されたい。なお、本日、提示する金額については、3 月議会の承認をもって確定するので、留意願いたい。

（委員）

この見直しについては、決定ということになるのか。広報紙が全世帯に届いていないということはわかったが、どれぐらい困っている自治会があるのか。この内容では、議論の余地がないようだが、各郷づくりに任せるということか。

（市長）

福津市は人口が増えているが、一方で自治会未加入者も増えていると聞いている。また、広報紙が全世帯に届いていないという現状もあり、本来は時間をかけて議論をできれば良かったが、同時に、現状のままでは配送業者がいないという問題もある。

決定までもプロセスが短いという指摘はもつともである。また、シルバー人材センター等を含め、民間事業者への委託を考えている。

（郷づくり支援課）

自治会によっては、自主的に配りたい地域もあるだろうが、行政区境が分かりにくいという問題もあり、ポスティングの実施にあたっては、確実に届けるため、一斉実施を提案させていただいた。

（地域振興部長）

本来、広報の配布は市が行なうべき事業であるが、合併前の行政区のころから、地域に何

とかお願いしてきた経緯があり、本来の自治会活動の足かせになっているような状況もある。地域の負担を少しでも減らして、その分、自治会活動に専念していただきたいと考えている。

(委員)

この事業に取り組み、自治会未加入者が減り、郷づくり活動に貢献されるのか。未加入率の対策はどのようにされるのか。

(市長)

私自身の公約でもあるが、郷づくりの制度を充実させ、住民に地域への愛着を持っていただき、その上で、市民参画を進めていきたいと考えている。権限や財源の移譲についても、今後も実施させていただきたいと考えている。

広報紙は、自治会への加入がどうであれ、市の仕事として、各世帯に行き渡らせることが重要と考えている。

(委員)

市が全世帯へポストイングするということだが、配送業者の問題は解決するのか。市の職員がポストイングするのか。

(郷づくり支援課)

ポストイングは、『むなふ』や選挙公報のように民間事業者への委託を検討している。配送業者の手配が難しくなっているというのは、市から自治会へ広報紙の束を届けることについてであり、ポストイングについては、問題はないと考えている。

(委員)

来年度は、自治会への交付金の10%以上が減らされることになる。負担になっているという声は、確かに届いているが、その業務をなくすから、一律に交付金を減らすというのは、どうなのか。各自治会内での予算の見直しも必要になってくる。

検討をされていたのはわかるが、せめて、自治会にもっと早く伝えていくのが、先ではなかったのか。今の説明では納得されないのではないか。

郷づくりの中で、事業として何か生み出すということも考えられたので、それを皆で話し合えば良かった。

(市長)

そのことは、予想していた。この2か月で、各自治会への説明をさせていただいたが、行政決定について、もっと丁寧なプロセスがあっても良かった。

しかし、交付金において広報配布等事業として算定している以上、ポストイングに掛かる経費を市の委託料に振り替えなければ、算定根拠としての意義が揺らぐことになる。

(副市長)

自治会、郷づくり単位での実施については、市でも検討を行ったが、難しいとの結論に至った。自治会や郷づくりからの意見をいただく場を作れなかったのは、本意ではなかった。

(郷づくり支援課)

郷づくり単位で、各拠点に自治会に広報紙を取りにきてもらい、配布してもらおうということも考えたが、金額面でご提示できそうな額ではなかった。

報告が遅れたことは反省しており、説明会の場でも、そのことはお伝えしたい。

市長・副市長公務により退席

(委員)

私が自治会長のときだが、各企業に広報紙を配って、協賛金をいただいているという現状もある。配布することで、企業とコミュニケーションがとれ、自治会の収益になっていることもあるという点は、お伝えしておきたい。

(郷づくり支援課)

広報紙の配布は、各世帯を対象としているため、部数に余裕があれば、お渡しし、そのような使い方をいただいても良いのではないかと。

(広報秘書課)

配布の対象は、個人商店を含む各世帯である。

(委員)

回覧は、月に2回なのか。

(郷づくり支援課)

広報紙は月2回の配布、回覧は月1回である。

(委員)

我々郷づくりにも説明責任があるため、しっかり聞いておきたい。これで自治会加入率は上がるのか。

(郷づくり支援課)

未加入者への対策は、福津市に限らず全国的な問題である。現在でも自治会加入について広報紙等でPRを行っているが、今後も継続して周知する必要があると考えている。

また、以前の代表者会議で事例紹介があったように、新規転入者が郷づくりの活動に参加され、地域とつながりができ、自治会加入につながるということもある。

今後も、市として力を入れて取り組んでいきたい。

(事務局員)

今回の見直しは、唐突な感じがする。業者の手配が難しくなっているという話しは耳にしていたが、自治会によって配布方法は様々であるため、例えば、32年度から実施するという余地はないのか。

(郷づくり支援課)

自治会にとっても、予算額をどのようにしていくか問題となるが、広報紙を全世帯に届けるということが重要と考えている。

(委員)

自治会を集め、運営のあり方や、人の配置を検討しなければならない。テーブルに乗せるのが遅かったと感じる。

メリット・デメリットはあるが、全世帯へ市が配布することは、良いことと思う。一方で農協からの機関紙が届いており、広報紙と一緒に、これらも配布しているため、市の広報紙配布がなくなった後、それらをどうするかという問題がある。

また、交付金についても、財源を捻出する必要性は分かるが、広報配布等事業という名称を自治活動推進事業とするなら、額を減らすというのは、いかがなものか。

(郷づくり支援課)

広報配布等事業という名称だが、これは、広報紙の配布だけではなく、自治会への様々な依頼事項についても含まれているという説明をしてきた。一部の住民からは、広報紙を自治

会未加入世帯に配布していない部分は、市に交付金を返還すべきという意見も出ている。

また、今回は、あくまでの市の広報紙についての見直しであり、このことについては、農協等にも伝えたい。

(委員)

説明会は、自治会から意見を聞くという場ではないのか。

(委員)

自治会や郷づくりの役員から、「郷づくりは市の下請けか」と言われる。決まったことを伝えるだけなら、郷づくりはいらぬのではないかと思う。

また、与えられた仕事に対し、手当てが少ないと感じている。

(郷づくり支援課)

もちろん、市と郷づくりが議論をして検討していくこともあれば、市が状況を勘案して方針を決定する場合もある。当然、意見は聞かせていただき、活かせるものは活かしていきたい。

なお、この見直しについて、協議、検討に時間を要したこともあり、説明が遅れたことは申し訳ない。

(委員)

財源を捻出する必要性は分かるが、広報紙を2回から1回とするような検討はあったのか。また、今回の見直しで、均等分15万円を10万円とすることが理解できない。世帯数分の見直しだけで良いのではないか。

(郷づくり支援課)

広報紙の発行回数については、あわせて検討を行っている。均等分と世帯数分の額については、これまで、明確な算定基準があったわけではなかったため、今回、様々な試算を行ない、検討した結果である。

(2) 地域分別収集事業について (うみがめ課)

地域分別収集事業に係る意向調査の実施について、うみがめ課が説明を行った。

(委員)

分別収集会場まで資源ごみを搬入することができない高齢者を支援する場合の料金について、質問を設けたほうが良い。また、分別収集に出る人について、例えば、担当は誰かとか、持ち回りでやっているのか、役員でやっているのかなど、もう少し詳しく質問を入れてほしい。

(うみがめ課)

そのように検討したい。

(3) 民生委員・児童委員の一斉改選について (福祉課)

民生委員・児童委員の一斉改選について、福祉課が説明を行った。

(福祉課)

各自治会への説明は、来年の4月を予定しているが、民生委員の選考について、今年度中に行なう自治会もあると伺っているため、そのような自治会には、各郷づくりから打診しておいてほしい。

(委員)

これは、自治会長には直接届くのか。

(福祉課)

来年の4月に、各自治会に説明を行なう予定であるが、今年度中に選考する自治会には、お伝えいただければと思う。

(委員)

今回の資料は、初めて見た。実質的には自治会の話なので、早くもらったからといって、何になるのか。先に自治会に渡すことはできないのか。

(福祉課)

今回は、各自治会に頭だしだけしておいてほしい。

(委員)

「郷づくりでしなさいよ」ということか。

(福祉課)

前回の改選の際は、4月に郷づくりに報告したが、その際に、「一部の自治会は、前年度に選考を行なうため、早めに郷づくりに教えてほしい」という声があった。来年は、民生委員の改選がある旨を、お伝えいただければと思う。

(4) 平成31年福津市議会議員選挙及び福岡県知事・県議会議員選挙における投票管理者及び投票立会人のお願い (総務課)

投票管理者及び投票立会人の選出のお願いについて、総務課が説明を行なった。

(5) 平成30年度福岡県「女性による元気な地域づくり応援講座事業」女性げんき塾 ふくつ姉妹。活動報告及び公開講座出席の依頼について (男女共同参画推進室)

人権政策課 及び 「ふくつ姉妹。」が活動報告及び公開講座の案内を行なった。

(ふくつ姉妹。)

郷づくりや地域のみなさんに、今回の活動で発掘した人材やアイデアを知っていただき、今後、そのような人材が地域の中で活躍してもらえればと考えている。

実際にアクションを起こしたいと思っている参加者もあり、ぜひ、彼女らがやってみたいと思うことについて、話しを聞いてもらいたい。来年の1月27日に、プレゼン&マッチング大会を行なうため、ぜひ参加していただきたい。

(委員)

何人ぐらいの会員がいるのか。

(ふくつ姉妹。)

1グループおおむね5人から10人程度であり、4グループある。

(事務局)

市からの依頼・説明事項は、以上である。

3. その他

(坂根会長)

その他、それぞれの地域から何か提案・意見交換等はないか。

(委員)

広報紙の配布方法の見直しについての説明会は、時間等は決まっているか。

(郷づくり支援課)

今後、協議の上、調整させていただく。

(委員)

時間は昼でも夜でも良いか。

(郷づくり支援課)

良い。

(事務局員)

自治会へ、この資料を見せても良いか。それとも、修正版を作成されるのか。

(郷づくり支援課)

問題ないが、自治会に説明する資料は別に作成する予定である。作成した場合は、郷づくりにお渡ししたい。なお、自治会長には、説明会の前に市からお伝えすることも検討している。

(委員)

今月25日の海岸松林ウォークには、各地域の方々に清掃等の協力いただいた。この場をお借りして、お礼を申し上げたい。

(事務局員)

次回の代表者会議は、2月8日(金)午後1時30分より、市役所別館1階大ホールにて開催する。

(坂根会長)

以上で、代表者会議を終了する。